



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社 セック

上場取引所 東

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 酒井 俊司

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,648	16.5	420	47.6	460	52.1	318	52.8
29年3月期第3四半期	3,131	△3.2	284	△32.6	302	△30.6	208	△28.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	62.20	—
29年3月期第3四半期	40.71	—

(注)平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,239	5,266	84.4
29年3月期	6,087	5,122	84.2

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 5,266百万円 29年3月期 5,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	36.00	—
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				42.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 10円00銭

平成30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 32円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,950	11.9	550	27.0	600	31.5	410	30.4	80.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	5,120,000 株	29年3月期	5,120,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	510 株	29年3月期	510 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	5,119,490 株	29年3月期3Q	5,119,490 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成29年4月から11月の月別売上高は、前年の反動で微減となった8月を除いて前年同月比で増加となっており、IT需要は全体的には概ね堅調に推移していると推察されます。当社事業分野では、移動体通信事業者からの需要が回復してモバイルネットワーク分野が増加したことに加え、官公庁案件をはじめとした社会基盤システム分野や車両自動走行などロボットの研究開発案件を中心とした宇宙先端システム分野が増加するなど需要環境は好調でした。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「既存の分野で業績を支え、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのサービス系の開発が好調で、売上高は1,202百万円(前年同期比22.3%増)となりました。インターネットBFは、民間企業向けの開発案件が減少したものの、非接触IC搭載ソフトウェアの開発が増加し、売上高は696百万円(同9.7%増)となりました。社会基盤システムBFは、官公庁案件や医療分野の開発が増加し、売上高は1,058百万円(同14.0%増)となりました。宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件が堅調であることに加え、ロボットの研究開発案件が増加し、売上高は689百万円(同18.3%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、モバイルネットワークシステムBFと宇宙先端システムBFが上昇し、その他のBFが低下しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,648百万円(前年同期比16.5%増)、営業利益420百万円(同47.6%増)、経常利益460百万円(同52.1%増)、四半期純利益318百万円(同52.8%増)となりました。

ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	983,222	31.4	1,202,514	33.0
インターネット	635,354	20.3	696,816	19.1
社会基盤システム	929,097	29.7	1,058,916	29.0
宇宙先端システム	583,349	18.6	689,896	18.9
計	3,131,023	100.0	3,648,144	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	1,221,746	136.1	366,679	134.5
インターネット	780,871	136.8	258,244	174.5
社会基盤システム	1,100,699	103.5	759,781	125.8
宇宙先端システム	781,864	120.0	295,367	131.6
計	3,885,182	122.1	1,680,072	134.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ152百万円増加し、6,239百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加154百万円、受取手形及び売掛金の減少112百万円などによる流動資産の増加25百万円、投資その他の資産の増加132百万円などによる固定資産の増加126百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ8百万円増加し、972百万円となりました。これは主に、流動負債の減少17百万円、固定負債の増加25百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ144百万円増加し、5,266百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の84.2%から84.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年1月22日の「業績予想及び配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,649,570	2,804,257
受取手形及び売掛金	1,791,489	1,678,925
商品及び製品	—	1,106
その他	149,758	132,345
流動資産合計	4,590,819	4,616,634
固定資産		
有形固定資産	50,801	44,190
無形固定資産	17,288	18,095
投資その他の資産		
投資有価証券	780,464	896,309
その他	647,786	664,261
投資その他の資産合計	1,428,250	1,560,570
固定資産合計	1,496,340	1,622,856
資産合計	6,087,160	6,239,491
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,076	221,513
短期借入金	36,000	121,500
未払法人税等	111,085	29,296
賞与引当金	201,000	118,000
その他	255,254	302,996
流動負債合計	810,416	793,306
固定負債		
役員退職慰労引当金	84,209	91,334
資産除去債務	13,561	13,697
その他	56,489	74,642
固定負債合計	154,260	179,673
負債合計	964,677	972,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	4,046,578	4,180,700
自己株式	△293	△293
株主資本合計	5,110,926	5,245,048
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,556	21,462
評価・換算差額等合計	11,556	21,462
純資産合計	5,122,482	5,266,510
負債純資産合計	6,087,160	6,239,491

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,131,023	3,648,144
売上原価	2,325,948	2,639,658
売上総利益	805,075	1,008,486
販売費及び一般管理費	520,457	588,426
営業利益	284,617	420,060
営業外収益		
受取利息	4,181	4,391
受取配当金	921	1,180
不動産賃貸料	3,151	3,092
補助金収入	—	16,213
受取出向料	10,639	16,395
その他	1,038	908
営業外収益合計	19,932	42,182
営業外費用		
支払利息	560	459
不動産賃貸費用	1,007	1,001
その他	3	10
営業外費用合計	1,571	1,472
経常利益	302,978	460,770
税引前四半期純利益	302,978	460,770
法人税、住民税及び事業税	44,200	90,912
法人税等調整額	50,340	51,433
法人税等合計	94,540	142,346
四半期純利益	208,437	318,423

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。